

## 雜 錄

### ◎本邦製鐵の二大方策

大河内正敏

我國の製鐵事業の窮狀を救ふには二つの方法がある、一つは應急策であり他は根本策である、理想を云へば根本策を探るべきであるが併し應急策でも必ずしもやつて行けなくはないと思ふ。

#### 一、製鐵業の合同

然らば應急策とは何であるか、いはく製鐵業の合同これである、最近の新聞に據ると政府でも行政整理の一として八幡製鐵所拂ひ下の議があるやうであるが、余はその事の眞偽も知らないし、またその議があるとして果して成功するかどうかは判らないが、それ等の事はどうであつても兎に角合同といふ事は日本の製鐵業を救ふ途である事丈は確である、政府部内には地域のかげ離れてるものは合同は出来ないと思へて居る人もあるやうであるが、余は地域が如何に離れて居ても差支へはないと思ふ、現に最近三井の經營に移つた釜石鑛山の如き從來釜石は輪西で用ひて居る倶知安の鑛石を持つて來れば優良な製品を得られ、また輪西の方も釜石の鑛石を使つた方が有利であるに拘らず經營者が違ふ關係で出來なかつたやうであるが、今度はそれが實現される事と思ふ。

#### イ、合同の範圍

合同の範圍をどの程度にするかは問題であるが内地の相當な工場は勿論朝鮮の兼二浦、滿洲の鞍山も加へた方がよからうと思ふ、現に鞍山の如きは從來三十幾%の貧鑛が多くて使へなかつたものを選鑛の結果、六十五%位の優良鑛にして使へるやうになつたし、又從來撫順炭が軟かいため製鐵用に適當なコークスが出來なかつたのが、段々研究の結果これも利用出來るやうになつたので同鑛山も有望になつた、であるからこれ等の合同が出來れば今述べたやうな利益がある外、更に製品の分業と云ふ利益がある、即ち例へば甲の工場は銑鐵のみを造り、乙工場は鋼の製造に専らになると云ふ事も出来るが、更に進んで工場所在地附近の需要または輸送關係等を考慮してある工場では建築材を造り他の工場では造船材を造ると云ふやうにすれば今日より餘程生産費を低下し得る事になる。

#### ロ、生産費低下と關稅引上

今日わが國の生産費は八幡製鐵所が大體銑鐵一噸三十五圓位で高い處になると五六十圓まであるやうだが、この生産費が三十五圓位に下があれば我が製鐵業は可成り有望である、と云ふのは米國の銑鐵の生産費が歐洲大戰後大分高くなつて所によつて多少の差はあるが先づ大體噸三十圓から三十五圓位になつて居るから日本のが三十五圓までになれば米國のは恐るゝに足らず後は支那と印度の銑鐵が幾らで入つて來るかゞ問題であるが、合同によつて、そこまで生産費を下げる事が出來前途望みが充分になれば、ある程度の關稅引き上げまたは生産補助を出してもいゝではないかと思ふ、尤も生産品に對する補助は困難でもあり、また弊害を伴ふものだから、

どちらかと云へば關稅政策による方がいゝと思ふ、關稅引上げと云ふと、その引上げ額だけ内地の製品が騰貴するもの、やうに思ふ人が多く輸入商人がまたその意味で反對を唱へるが事實は關稅の引上げをやつてもその額だけ内地製品の價格が騰貴するものでない事は從來の例に徴して明かである。

## 二、根本改善に電氣利用

今云ふやうに合同が行はれ、ばそれによつて製鐵業はどうにか立行くのである、併しそれは前にも云つたやうに一つの應急策に過ぎない、余は今日のわが製鐵業即ち歐米の方法をそのまゝ輸入した處の今日の製鐵方法は根本的に改める必要があると信ずる、一體わが國は砂鐵と硫化鐵礦の豊富な土地で砂鐵だけでも恐らく五六十億噸はあらうが、かう云ふ國でいまの西洋式の高い熔鑛爐を作つて製鐵をすると云ふことは根本的に間違つて居る。と云ふのはこの豊富な砂鐵と硫化鐵礦を全然利用することが出来ないからである、しかも缺點はこれのみに止まらない、それはさきに鞍山の處で云つたやうに撫順の石炭の如きは質が軟かいために製鐵用のコークスを作ることが困難であるが大體日本の石炭は何れもさうであつて極小部分しか製鐵用に使ひ得るものはない、そこで自然に生産費が高くつくのであるが、若しこれを今日理化學研究所で研究中で大體成功した處の電氣を用ひる方法を利用するならば豊富な砂鐵と硫化鐵礦を充分に利用することが出來て生産費も安く上がるのである、だからどうしても根本的製鐵政策を建てると云ふならば此後者によるの外はないと信ずる。

## ◎鐵の自給自足に就て

西和田久學氏談

我國に於ける鐵の自給自足問題は隨分永い間の懸案であるが、之に對し政府にもまだ根本的政策が立つて居ない様に見える。自給自足を圖るには種々の方策があり、或は關稅とか保護とか種々政治的の方策もあらうが、それは第二位のもので第一位としては科學的又は物質的に研究して立案せねばならぬと云ふ、後者の内一番大切な事は原料の供給を潤澤にすることである、我が内地に於ける原料は交通運搬の便宜しき處は大概開拓せられ居れども、不便の處はまだ開拓せられざるものが多い、然るに其鐵鑛は外國に於けるが如く品質の一定したものが多量に纏まつて居る處が尠いから、諸所から種々の鑛石を取寄せて種々調合して製鐵せねばならぬと云ふ手數が生産費を高める原因の一つになつて居る。處が幸ひ支那、南洋、沿海州等の近い國外には多少品質の定まつた鑛石を多量に産出する處があり更に此等の國は自國でそれを製鐵することが出來ない事情の存する處があるから我國に於て、適當の方法を講ずれば此等の外國の鑛石を輸入することは容易のことである。處が鑛石の供給を外國に仰ぐ様では自給にはならぬと云ふ論者もある様に見えるが之れは甚だ狭い考へである。曾て農商務省に製鐵業調査會なるものを興し官民から委員を選抜して調査をした時或る委員の話に我國では鑛石の大部分を支那の楊子江流域に仰いで居るが、一朝事があつて、敵國が楊子江の河身狭き處にボロ船でも沈めたら、鑛石の供給は忽ちに杜絶せらるゝの憂があるから是非共内地の鐵山を

64  
開發するの要があると云つた。一朝事あつて敵艦が我國の近海に出没する場合に思ひ至らば此時は我國に最早製鐵の問題どころでないであらう。故に予は自給の範圍を廣く考へて近い海外からの鑛石を輸入することを得策と信ずる。

八幡に製鐵所を創立した時、當時の和田長官は鑛石の供給に就て深く研究し、彼の大冶の如きも冬期に於て楊子江が減水すれば輸送量が減じ八幡には數ヶ月間の貯鑛を要する不便があるから、是非共太平洋沿岸の暖い處からも供給を仰がねばならぬとて當時原料調査に従事せる者に注意を與へたことがある、之れは今日に於ても八幡に限らず、民間製鐵所に於ても留意すべきことであらう。

次に製鐵業に最も必要なる石炭の供給は如何と云ふ大問題がある。以前の製鐵業調査會の時には鑛石の事にのみ議論を費やし石炭に就ての論議がなかつたのは遺憾と思はれる製鐵所の位置規模等を支配するものは鑛石よりも寧ろ石炭である、我が内地は勿論、北海道、樺太、臺灣、朝鮮、支那等に於ける石炭に就ては實地調査を遂げ製鐵原料に適するものに對し大體の見當が附いては居るが尙ほ研究の餘地がある、我國の製鐵業者は官民を問はず、大に此の石炭の問題を研究する必要がある。此の問題を解決せねば鐵の自給自足問題は到底解決が至難であらう。今後更に此問題に對する調査機關が出来たならば從來と赴きを異にして一切の情實を排し極めて科學的に着實に研究してもらいたいと思ふ。

尙ほ電氣製鐵の問題もあるが、之れは我國の如き山國に於ては適當の事業であれども、何方にも、まだ小規模のものであるから或特種の製鐵業に限られ、矢張り大規模の製鐵業は

石炭を燃料とするものであることは茲に附言せずとも既に人の能く知る處である。

### ●印度製鋼業保護法案

(五月十五日在カルカッタ)  
タ帝國總領事若手嘉雄

曩に公表せられたる印度關稅調查委員會の報告書は印度製鋼業の保護を絶對必要なりとし其結果向ふ三箇年間諸輸入關稅並に獎勵金の新設を印度政府に勸奨したるが政府の採擇する所となり、右保護法案は五月十三日附官報號外告示を以て公表せられ来る二十七日よりシムラに於て開會の中央議會に附議せらるゝ筈なるが右印度關稅調查委員會は前年二月十六日の印度中央立法參事會を通過せし決議案に基き設立せられ先づ當初一箇年を限り印度産業中保護を必要とするもの、調査並に其結果特定産業に保護を必要と認むる時は其性質及程度に關し印度政府に勸奨を爲すを目的としデー・レイニーを委員長としヴィ・デー・ケール及ビー・ビー・チンツラの兩名を委員とせり。

斯くて設立せられたる同委員會は先づ一、印度製鋼業に保護を與ふべきや、二、保護を與ふる場合には鋼鐵の使用を必要とする工業就中鐵道用車輛並に汽罐車製造工業に及ぼす影響如何等に關し調査せり。

同委員會は前年七月シムラに集會後弘く國內各地を巡歴し親しく各工業地を視察し傍當業者より其意見を聴取したる後今回公表の報告書を作成し印度製鋼業保護に關し政府に勸奨する所ありたり、主要結論は一、製鋼業保護は財政委員會が普通の場合或種産業が保護を必要とすと認めし三箇の條件を充たすのみならず該業は國家自衛上緊切なる工業にして國家

的見地よりして極めて重要なものなり、故に假令該業が普通の條件を全部充たすに足らざる場合と雖之が保護を必要とすべし、二、鐵鑛石の豊富なること竝に鐵鑛山と炭鑛山との距離比較的近接せる事實に基き印度は製鋼に關し自然的に多大なる利便を有す、三、印度に於ける製鋼用石灰の供給は其製鋼業の發達にして異常に急激ならざる限り向後百箇年又は夫れ以上に於ける製鋼業の所要量に十分なり他面石灰石竝に白雲石の供給又潤澤なり只是等材料の品質に至ては他國品に比し一籌を輸する所あるも所要目的には十分なるのみならず其價格の點に至ては如何なる國に於けるよりも低廉なり。四、印度に於ては其他原料品の大部分竝に耐火煉瓦用原料亦豊富なりとす、五、鋼鐵に對する印度市場は既に廣大にして且將來發達の望あり勞力に關しては現今印度は不利益の地位に在りと雖這は勞働者が熟練と經驗とを得るに従ひ除去せらるべし、六、世界市場に於ける現在價格の標準を以てしては印度製鋼業は損失を醸しつゝあり、されば之に對し保護を與へずんば將來發達の見込なかるべく或は全然消滅するに至るべき虞あり、七、印度は既に世界各國の何れよりも廉價に鐵を製出し而して良質なる鋼鐵の製出可能なること又立證せられたり但し從來は良質のものを多量に製出すること困難なりしが一旦之に成功せんか印度製鋼業の前途は洋々たるものあり、八、印度に於ける製鋼費用は來るべき三四年間に於て恐らく多大の低下を見るべく而して遠からず印度製鋼業は無保護にして能く輸入鋼鐵との競争に堪ふるに至るべき確信あり、九、保護の必要は左記二價格の差異に依て之を定むべきなり、(A)外國より印度へ輸入せらるべき鋼鐵の輸入價格、(B)

印度の製鋼業者が相當の利益を以てする販賣價格、一〇、鋼鐵の印度への輸入價格は關稅を除き大約左の如し。

品 種	一噸の價格、單位留比)
Bars	140
Structural Shapes, i. e. Angles, Beams, Channels, etc.	145
Rails, 30 Lbs. and Over,	140
Plates, Ordinary.	150
Sheets, Black.	200
Galvanised.	300

一一、印度製鋼業者に對し其出資に對する相應の利益を與ふべき平均價格は一噸百八十留比なり、一二、板鐵の場合を除き今次提案の新保護關稅賦課又は獎勵金の附與は殆ど前顯二價格の差異を償ふ萬一輸入鋼鐵價格の下落に基き關稅が妥當なる保護を與へざるに至らば更に附加稅を課すべく印度政府は立法を以て此種課稅を行ふべし、一三、本提案の實施は向ふ三箇年間に限らる、右は一は將來世界市場に於ける價格の不安定なること、二は將來生産費の低下すべきこと疑ひなかるべきに依る從て一九二六年二七年度に於て更に新調査を必要とすべし、一四、本提案は現在印度に於て生産せられず又當分の間生産の見込なき種類に屬する鋼鐵に對しては出來得る限り其影響の微小なるを期したり、一五、依て左記の品一噸に對する左記の從量稅の附加を提議す。

鋼	(單位留比)
(A) Structural Shapes, i. e. Beams, Angles, Channels, etc.	30
(B) Ship Tank and Bridge Plates.	30
(C) Common Merchant Bars and Rods.	40
(D) Light Rails (Under 30 Lbs).	40

(E) Black Sheets, Whether plain or Corrugated. 30  
 (F) Galvanized Sheets, Whether plain or Corrugated. 45

Wrought Iron.

(A) Angles, Channels. 20

(B) Common Bars. 35

一六、鍛鐵の或種のものに對する關稅附課の必要は左の理由に基く即ち其普通品質のものは鋼鐵と共に種々なる用途に使用せらるゝ結果兩者の價格に若干の差異あらんが之等は鋼鐵に代るに至るべきを以てなり、一七、大鐵竝に鋼鐵の優良品は現行稅率の儘にして本提案に基く新關稅の影響なし、一八、獎勵金の附與は左記製造品一噸に對し左記の率に依る。

Medium and Heavy Rails

Flatplates

留比

一九二四年—二五年度

三十二

一九二五年—二六年度

二十六

一九二六年—二七年度

二十

而して現今の從價稅を一噸十四留比の從量稅に代へんとす。

一九、製鋼業保護の結果現今外國品との激烈なる競争にも拘らず幾多の困難に處し其地歩を維持しつゝある諸機械工業は必ずや當分其費用の増加を免れざるべし、されば本提案採用の曉には製鋼關稅は少くとも二割或は二割五分の増加を見るべきや必せり、二〇、製鋼業保護の爲國家の拂ふべき犠牲は一時的にして之に依り將來得らるべき利益は優に此犠牲を償ひて餘りあるべし、又消費者の負擔は區々たるべく從て特殊の工業或は特殊の社會に對してのみ不當の負擔を課するものにあらざるべし。

### ◎米國自動車製造業近況(五月二十九日在シカゴ)

(帝國領事吉田丹一郎)

五月下旬發表せられたる米國の四月中自動車製造數は同月中製造節減の聲盛に傳へられたるに拘らず左程の減少を見ず依然多數の製造を見たるも四月の乗合自動車の製造數は三三七、〇三七臺にして(但し極めて少數なる小會社の製造數は加算せず)三月の三四八、三五〇臺及昨年四月の製造數三四四、六六一臺に比し遙に減少せるを見たり、自動車工業の製造増加率の緩慢となれる證左は右に依るも容易に發見し得らるゝ處なるが更に又米國の自動車製造數は一般に三月よりも四月に入りて多數製造せらるゝこと常なるに拘らず今年は之と全く反對の現象を生じたるを見る時は自動車の増加率が遞減しつゝある傾向あるを容易に觀取し得べし。

四月中に製造せられたる貨物自動車數は三六、一〇二臺にして三月の三四、一〇六臺に比すれば約二千臺増加せるも昨年四月の三八、〇八五臺に比し遙に減少せり、又本年四月三十日迄の四箇月間の乗用自動車の製造數は一、三〇九、〇六二臺以上にして昨年同四箇月間の一、一四三、〇五四臺及一昨年の同四箇月間の五四一、〇五三臺に比し生産増加率減少し又本年四月三十日迄の四箇月間の貨物自動車製造數は一三〇、二八一臺にして昨年同四箇月間の一一五、二七四臺及一昨年の六五、六五七臺に比し増加累進率緩慢なりと云ふべし、前掲數字は商務省の報告によるものにして二〇二の製造業者より得たる數字を基礎とせるものにして此内九七は乗用自動車製造業者にして一三四は貨物自動車製造業者(内二九は乗用及貨物自動車を製造す)なり、又一二月中の製造數中には現在事業を中止せる一四會社の製造數を含み四月中の製

造數中には本報告作製造迄に報告未到達の一三小會社の製造數を除外せるものにして貨物自動車數中には消火用及撒水用自動車數を包含せり昨年及本年四月迄の自動車製造數の月別左の如し。

月	乗用自動車		貨物用自動車	
	一九三二年	一九三三年	一九三二年	一九三三年
一月	八、六六六	三三、八三三	二六、〇三三	九、五九六
二月	一〇、九一七	二五、七六一	三六、九七三	一九、七三三
三月	一五、九六一	三九、七六九	三三、〇三〇	三三、一七三
四月	一七、三三四	四四、六一二	二〇、〇六六	三三、一六四
四月合計	五二、〇三三	一四三、〇三三	一〇〇、〇六六	一三〇、〇六六
五月	三三、四六一	三五、〇四六	四、七四〇	四、七四〇
六月	三三、〇三三	三七、七〇一	二、三五四	四、一七三
七月	三三、一〇一	一九、七三三	三、〇三三	三、〇三三
八月	二四、四六一	三三、四九六	四、七三三	三、〇三三
九月	二六、七七一	二六、九六六	一、九三三	二、六八八
十月	二七、五六一	三五、〇三三	二、八三三	二、八三三
十一月	三五、三六一	二六、九三三	三、六七七	二、六八八
十二月	二〇、〇三三	二五、四三三	二、〇三三	二、七三三

次に自動車價格の増減竝に本年の新型に付觀るにムーン自動車會社は五月十七日新型ロードスター（工場渡米貨一、三五〇弗）の製造を開始し又エフ・ビー・スターンズ會社は六月一日頃六シリンダー輕量自動車の製造賣出を計畫し該新型オープン約米貨一、八〇〇弗、箱型米貨二、四〇〇弗の見込にて從來の同社製品に比し價格最低廉にしてナイト發動機を装置せり、スターンズ會社の四シリンダー型の價格は五月十八日以降米貨一五五弗乃至三〇〇弗割引くこととなり新價格はツリアリング米貨一、五九五弗クーペー及ロードスター同

一、七九五弗クーペーブルーハム同一、八九五弗五人乗セダンブルーハム同一、九〇六弗にしてシヴォ自動車會社は五月二十一日よりオープン型に付米貨五弗乃至二〇弗價格引上をなし箱型は價格に何等變更なしロードスター米貨四九〇弗より四九五弗ツリアリング同四九五弗より五一〇弗特製ツリアリング同六二五弗より六四〇弗チャンス同三九〇弗より四一〇弗尚リケンパツカー自動車會社は五月一日附の報告によれば六月一日より實際に價格の値上を行ひウイルスオーパーランド會社はオープン型の價格を値上することを發表しエッチ・エッチ・フランクリン會社は五月二十一日報告に據れば自動車工業の現状に鑑みフランクリン自動車の製造を一時中止する模様あり。

●支那に於ける鋼球需給狀況

一、奉天地方

奉天に於けるスチールボールは英國獨逸並に本邦製の三種にして内英國製の品質優良なるは一般に認むる價格非常に高價、爲其賣行徹々として振はず、獨逸品は二分球以上の人力車用に限り天津經由當地に輸入せられ價格亦一哥に付本邦品に比し金十錢内外低廉なる爲實用向にして本邦品を凌駕し居れり、當地スチールボールの車輛數を見るに人力車約七千五百臺自轉車約千九百臺にして其價格左の如し。

品名	日本品	獨逸品	外國品
（一）二分五厘	一哥に付	同	同
（單位價格錢）	八〇内外	六〇乃至七〇	一〇〇内外

(一)同	日本品	同	六〇内外
	獨逸品	同	五〇乃至六〇
	外國品	同	八〇内外
(三)一分七厘五毛	日本品	同	五〇内外
(四)一分五厘	同	同	四五内外
(五)一分二厘五毛	同	同	三〇内外
(六)一分	同	同	一五内外

二、青島地方

需給狀況 鋼球は主として車輛用にして粉碎其他に之を使用するもの極めて尠し、車輛用としては自轉車自動車及人力車に使用せらるゝものにして現在青島に在る自動車は約二百臺自轉車五百臺人力車三千輛なるに依り一輛に付半グロス宛消耗するものと假定せば一箇年の需要量は人力車用千五百グロス自轉車用二百五十グロス自動車用百グロス内外なり。

給供狀況 現に當地に在る鋼球は左記會社製品にして人力車用の内外地品を使用するものなし。

製造會社名	獨逸
Tohaido Co.,	米
トヤレス商會	同
Pruck Co.,	日本
天辻鋼球製作所	日本

内地品の缺點と特徴 内地品は外國品に比し價格低廉なるも一、光澤乏しきこと、二、品質脆弱なること、三、表面に微細なる凹凸ありて滑かならざること等の缺點あるに付實行良好ならず。

相場 自動車用は米國のピック會社製にして三分球一グロス一元八十仙、四分球二元四十仙なり人力車用は二分球及二分五厘球にして天辻製二分五の球一グロス六十八錢なり自

轉車用鋼球は左の如し。(單位一グロス)

一分	一分二五	一分五厘	一分七五	二分	二分五厘
1/8	5/32	3/16	7/32	1/4	5/16
Tohaido Co.,	三〇	五三	六八	九〇	一一〇
トヤレス商會	二〇	三五	四〇	一	七八

●漢冶萍借款成立

昨年春市來藏相以來の懸案であつた漢冶萍公司に對する追加借疑に關しては先般來漢冶萍當事者夏氏と八幡製鐵所大藏省正金の借疑關係當事者とが協議中であつたが大體左の條件で追加借疑が成立する事となつた。

- 一、追加借疑金額八百五十萬圓
- 一、該借款は漢冶萍公司の事業資金に使用するもので工事中止中である鎔鑛爐の完成及修繕等に使用するものである。
- 一、借款の直接當事者は正金銀行であつて正金は該借款の資金として大藏省預金部の日銀預金中より指定預金を受けらる。
- 一、該借款の償還期限は十七年で漢冶萍公司は毎年八幡製鐵所へ納入する鑛石代を以て元利の償還に充當する。